

九州歯科大学

KYUSHU DENTAL UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2027

歯学科

SCHOOL OF DENTISTRY

口腔保健学科

SCHOOL OF ORAL HEALTH SCIENCES

大学案内2027

磨かれた先に見えるのは、 あなたのミライ



九州歯科大学憲章

平成26年に創立100周年を迎えた九州歯科大学は、次なる世紀に向けて患者中心の歯科医療を提供できる人材の育成を第一義に掲げ、全人的歯科医学教育活動を展開します。新たな大学づくりに踏み出すにあたり、ここに「九州歯科大学憲章」を掲げ、学生、教員、職員の3者が一体となって、理念の共有と目標の実現を目指します。

九州歯科大学の基本理念

九州歯科大学の基本理念を以下のとおり定め、九州歯科大学がどのような人材の養成、社会貢献、および研究活動を展開するのかをここに明らかにします。

高度な専門性を持った
歯科医療人の育成

地域医療の
中核的役割を果たす

歯科医学を支える
研究の推進

教育研究目標

九州歯科大学は、基本理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行います。

1. プロフェッションとしての人間性、豊かな教養、専門知識および技能の備わった歯科医療人を育成する。
2. 科学的情報を正しく解釈し、根拠に基づいた歯科保健医療活動が行える人材を育成する。
3. 全身の健康という視点に立ち、いかなる社会構造の変化にも対応できる歯科医療人を育成する。
4. 多職種と連携し、歯科保健医療を通じて地域社会に貢献することができる歯科医療人を育成する。
5. 国際連携交流活動を強化し、国際的な視野に立って歯科保健医療活動が行える人材の育成を推進する。
6. 学際領域の学問分野と協働し、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する。

学長挨拶

本学は全国にある歯学部、歯科大学の中で唯一の公立大学で、歯学科と口腔保健学科からなる「口腔医学の総合大学」です。次なる世紀に向けて患者中心の歯科医療を提供できる人材の育成を第一義に掲げ、全人的歯科医学教育活動を通じて、人間性豊かで実践的な歯科医療人の育成を行っております。

歯学科は創立110年余となります。一方、口腔保健学科は前身の附属歯科衛生学院の歴史を踏まえ、歯科衛生士育成の歴史は80年近くにも及び、本学の卒業生は全国各地の地域医療の現場を始め、国内外の様々な分野において活躍をしております。

昨今、歯科医療を取り巻く環境が大きく変わろうとしている中で、高等教育には「何を教えたか」から「何を学び、身に付けることができたか」への転換が求められております。本学では他大学に先駆けて、アウトカム基盤型教育の導入や診療参加型臨床実習の促進などの様々な教育改革を行ってきております。

歯学教育に限らず、様々な分野で重視されているThink globally, Act locally（地球規模で考え、足元から行動せよ）という考え方を、本学では国際教育交流プログラムや地域歯科保健活動などの様々な教育活動を通して涵養し、最終的に歯科医学及び医療界において世界レベルで活躍できる歯科医療人の育成を目指しております。

口腔の健康は、全身の健康や人としての生活の質（QOL）を維持していく上で大変重要であり、今後、超高齢社会を迎えていく我が国の医療・福祉の現場では、ますます歯科医療の専門家のニーズが増しております。そのため本学は、今まで以上に社会貢献できる歯科医師及び歯科衛生士といった歯科医療人の育成を行っていく使命があると考えています。



九州歯科大学 学長 粟野 秀慈

九州歯科大学は、國永正臣が大正3年（1914年）に福岡市で設立した九州歯科医学校を前身とし、九州歯科医学専門学校、福岡県立医学歯学専門学校、福岡県立歯科医学専門学校を経て昭和24年（1949年）に九州歯科大学となり現在に至っています。

沿革

- 1914 福岡市因幡町（現福岡市中央区）に私立九州歯科医学校開設
- 1921 九州歯科医学専門学校に昇格
- 1924 福岡市今泉町（現福岡市中央区）に移転
- 1936 小倉市真鶴町（現北九州市小倉北区）に移転
- 1944 福岡県に移管、医学科を併置し福岡県立医学歯学専門学校と改称
- 1947 医学科を福岡県立高等学校に転換（後に廃校）歯学科を福岡県立歯科医学専門学校と改称
- 1949 九州歯科大学に昇格
- 1950 福岡歯科衛生士養成所を九州歯科大学に移管
- 1953 福岡歯科衛生士養成所を福岡県歯科衛生士養成所と改称
- 1955 福岡県歯科衛生士養成所を廃止
- 1957 福岡県歯科衛生士養成所を再開
- 1964 福岡県歯科衛生士養成所を九州歯科大学附属歯科衛生学院と改称
- 1966 大学院歯学研究科開設
- 2006 公立大学法人九州歯科大学設立、附属歯科衛生学院は県立の専門学校となる
- 2010 口腔保健学科開設
- 2011 附属歯科衛生学院廃止
- 2014 大学院歯学研究科口腔保健学専攻（修士課程）開設

INDEX

九州歯科大学の強み	03
学科紹介	13
在学生の声	15
歯学科	17
口腔保健学科	23
大学院・卒業生の声	29
キャンパスライフ	31
クラブ・同好会	33
大学周辺マップ	35
出身高等学校・受験フロー	37



KDUの
強み

1

最先端の設備がそろそろ、 充実した環境で行われる授業

九州歯科大学では、1つのキャンパス内に本館・附属病院・解剖棟・講堂があり、講義や実習などを受けやすい環境となっています。本館の中には、国内では初となるデジタル歯科用シミュレーターの導入や、学生の学習環境の整備のためにラーニングcommonsを設置するなど、学生が歯学教育を充実して受けられるよう取り組んでいます。

最新のテクノロジーのもとで、
高度な知識や技能を身に付ける



DDS-100

3Dバーチャルリアリティ技術によるリアルタイム評価システムを備えたデジタル歯科用シミュレーターを導入しています。歯の切削を伴う様々な臨床を想定し、学生の技能向上を図るため導入しています。



電子顕微鏡室

歯科医学の分野に欠かせない透過電子顕微鏡、走査電子顕微鏡と、その周辺機器であるウルトラマイクロームや蒸着装置などを完備しています。また、試料作成のための試料調整室があり、使用する装置も多数取りそろえています。ここでの研究の成果は、教育の場にも活かされています。

歯学を学ぶために
最適な施設がたくさんあります



コンピューター関連施設

コンピューター演習室の105台のパソコンを含め、計135台(学生数比5人/1台)のパソコンを設置しています。



附属図書館

歯科単科としては国内最大級の図書館には、歯科医師国家試験の参考書なども豊富に取りそろえています。



ラーニングコモンズ

学生が主体的に問題を発見し、解を見出す能動型学修(アクティブラーニング)や双方向の講義、演習等の授業を中心とした教育を行える教育の場を整備しています。ここでは学生が自学自習をしやすい環境を整えています。



動物実験施設・解剖棟

動物実験施設は、歯学・医学に関する共同利用の場とし、歯学・医学研究の推進ならびに実験動物に関する教育研究を行っています。

STUDENT VOICE

歯科医療人を目指すための 最適な環境が整っています

九州歯科大学には、歯科医療人として成長するための先進的で充実した設備と学修環境が整っています。最新のテクノロジーを備えたシミュレーション実習室や相互実習室では、実際の診療に近い環境のもとで高度な知識や技能を実践的に修得することができるため、将来の医療現場へとつながる確かな力を身に付けられている実感がありますね。また、図書館や自習スペースも充実していて、落ち着いた環境の中で主体的に学びを深めることができます。学修に専念できるのは、恵まれた環境も大きいと思います。



歯学科 相馬瑠稀さん
東京都/東京都立日比谷高等学校卒



KDUの
強み

2

実践的な臨床実習の場で、 スペシャリストを生み出す

九州歯科大学のキャンパスには、九州歯科大学病院が併設されています。全国有数の規模と設備を備え、多くの患者さんが来院する実績ある病院です。本学の大きな強みの一つであり、歯科医療を志す人にとって、臨床と学びが結びついた最適な環境が整っています。他の総合大学歯学部比べて多くの歯科診療チェアを備え、学部学生の段階から体系的な実習を通して臨床経験を積むことが可能です。本学では、専門的知識と技術に加え、患者さんに寄り添う姿勢(ヒューマンマインド)を大切にした歯科医療人の養成に力を入れています。



九州歯科大学附属病院外観

高度な専門性を持った歯科医療人を育て、地域の歯科医療の中核病院として、最高水準の医療を行っています。

参加型臨床実習によって、
実践力を身に付ける



歯学科では5年次生から、口腔保健学科では3年次生から、プライマリ・ケアを中心とした総合診療科をはじめ、各専門診療科での実習があります。また、連携協定を締結している北九州市内の総合病院や介護施設などにおいても外部実習を行っています。



クリニカルクラークシップ

クリニカルクラークシップとは、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付ける診療参加型臨床実習のことです。学生が教員の指導の下、診療に参加し、実際に患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、歯科医療に必要な基本的知識、態度、技能を習得するものです。クリニカルクラークシップでは、指導医の指導の下、一定の範囲内で、学生自ら主体性と責任感をもって学ぶことが求められています。

STUDENT VOICE

患者さんと向き合い、 成長を実感できる臨床実習

歯学科の5・6年次には、実際の診療現場に参加する診療参加型臨床実習があります。学生が治療のアシストに入ることに對して、患者さんはとても協力的で、温かく信頼してください。先生方も親身になって手技を教えてください、丁寧な説明や適切なフォローのもとで、安心して実習に取り組むことができます。患者さんや先生との距離が近く、質問や相談がしやすい環境で学べることも、大きな魅力の一つです。

また、自分の担当患者さんを約1年間継続して診ることで、治療に対する責任感や先を見通して考える力が身に付き、歯科医師としての自覚と成長を実感できる実習となっています。



歯学科 大川小百合さん
東京都／帝京大学高等学校卒



KDUの
強み
3

海外の大学との連携を展開し、 国際社会で活躍できる人材を育成

「Global and Local Collaborative Dental Education」をブランドゴールに、欧米・アジアにある大学13校と学術交流協定を締結。共同研究等の連携や海外の大学との国際交流を積極的に進め、グローバルな人材の育成を目指しています。

海外協定大学

韓国(ソウル)
延世大学校歯科大学
1992年1月15日協定締結

中国(上海)
同済大学
2001年5月29日協定締結

ミャンマー(ヤンゴン)
ヤンゴン歯科大学
2013年3月22日協定締結

ミャンマー(マンダレー)
マンダレー歯科大学
2013年3月22日協定締結

タイ(バンコク)
シーナカリンウィロート大学
2013年8月19日協定締結

フィンランド(ヘルシンキ)
ヘルシンキ大学
2013年8月27日協定締結

台湾(高雄)
高雄医学大学
2013年9月16日協定締結

カナダ(バンクーバー)
ブリティッシュコロンビア大学
2013年11月18日協定締結

中国(香港)
香港大学
2013年11月25日協定締結

インド(チェンナイ)
シュリ・ラーマチャンドラ大学
2013年12月25日協定締結

タイ(パトゥムタニ)
ランシット大学
2015年3月25日協定締結

台湾(台北)
台北医学大学
2016年5月11日協定締結

台湾(台中)
中山医学大学
2021年5月31日協定締結

九州歯科大学国際交流プログラム

九州歯科大学国際交流プログラムとして本学の学生を海外に派遣する海外短期プログラムと海外の学生の受け入れ事業を行っています。本プログラムにより、本学の学生の国際的視野が広がり、国際的コミュニケーション能力が身に付くことが期待されています。

バンクーバー【カナダ】

海外短期派遣プログラム



連携協定を締結している海外の歯科大学・歯学部において派遣学生が講義・臨床の見学ならびに国際交流を体験するものです。これにより、“Think globally, Act locally”を実践する歯科医療人に必要な国際的視野と国際的コミュニケーション能力を身に付けることを目的としています。学生の渡航費用の一部については九州歯科大学基金から充当されます。令和7年度においては、歯学科4年次生はタイのシーナカリンウィロート大学およびランシット大学に、歯学科3年次生は台湾の中山医学大学及び台北医学大学に、口腔保健学科3年次生は台湾の高雄医学大学、台北医学大学にそれぞれ約一週間の訪問をしています。

海外学生受け入れ事業



九州歯科大学では海外の連携大学からの学生を対象に、希望に応じて受入プログラムを実施しています。本プログラムでは、歯科医療や福祉に関する幅広い学びの機会を提供し、国際的な交流を通じて相互理解を深めています。令和7年度はシーナカリンウィロート大学、ランシット大学、高雄医学大学、台北医学大学及び中山医学大学の5大学より学部学生を短期間受け入れました。

STUDENT VOICE

海外研修がもたらした学び 広がった国際的視点と将来像

台湾での歯学研修では、学習環境のデジタル化や人口構成、医療制度の違いに応じた歯科医療の在り方を学びました。講義や実習では、教育内容が各国の社会背景を踏まえて構成されており、学生が主体的に学び、議論する姿勢が強く印象に残っています。

現地学生との交流を通して、同じ歯科医療であっても求められる役割や専門性が異なることを実感しました。

本研修は、大学で学んでいる基礎・臨床知識を国際的視点から捉え直す契機となり、将来は海外で専門性を高め、国境を越えて歯科医療に貢献したいという目標を明確にする経験となりました。



歯学科 早田ももさん
宮崎県／宮崎県立宮崎大宮高校卒



KDUの
強み

4

きめ細やかな教育体制が あなたの能力を十分に伸ばす

九州歯科大学は全国で歯学部を有する29の大学の中で唯一の公立大学です。歯学部の単学部大学であるため、教員1人あたりの学生数も少ないことから修学の相談や助言など受けやすい体制となっています。また、入学した1年次生を対象に行う、歯科医療人を養成するための初年次教育プログラムも充実しています。

少人数制の授業が、一人一人の個性を尊重しながら、
時代に即した歯科医療人を育てる

テュートリアル教育

テュートリアル教育とは、6~7人程度の少人数で行うグループ討論型の学習です。学生が主体性を持って能動的に学習する習慣を身に付けるための教育であり、知識そのものではなく、知識獲得の方法を学び、コミュニケーション能力の向上を図ります。

助言教員制度

1年次の学生は約10名ずつに班分けされ、それぞれの班を1名の教員が担当し、学習や生活についての相談・助言を行います。2~6年次の学生は自由に教員に相談できますが、さらに助言が受けられやすいように、毎年度当初に助言教員表を掲示します。これには、教員が対応可能な時間帯（スチューデントアワー）を掲載します。

学生支援体制

学生を支援するために教職員が一体となり、さまざまな体制を整えています。例えば、教育や生活について積極的に相談ができるよう、教職員が対応可能な時間帯（スチューデントアワー）を設定しています。



WADS(ワッズ)キャンプ

WADSとは「We Are Dental Students」の頭文字をつないだものです。

歯学科・口腔保健学科の1年次生と歯学科4年次生を対象にした学外研修で、それぞれテーマを設け実施しています。



1年次生

歯科医療人という職業を考える旅

自分たちが将来かかわっていく歯科医療人について「どのような職業か?」「その職業に抱く夢とは?」「夢を実現するために送る学生生活とは?」といったことを、教員や先輩のミニレクチャーを参考に新入生同士で語り合います。また、レ

クリエーションを通して、多くの仲間と科の垣根を越えた絆を育みます。

互いの考えや意識を共有できるWADSキャンプは、学生たちにとって充実した大学生活への一歩を踏み出すきっかけとなっています。

4年次生

10年後の自分をプロデュースする

6年間ある歯学科での学生生活、その後半戦は4年次生から始まります。卒業して国家試験に合格し歯科医師となった学生は、自らの手で将来を決めていかなければなりません。

そこで「5年後、10年後の自分」をイメー

ジできるように、先輩の話を聞き、学生同士でディスカッションを行います。また、目標をより具体化することでプロ意識を育み、「目指す将来の姿と、そのために今後どう過ごしていくのか」を具体的かつ現実的に考える機会としています。



保健師や専門のカウンセラーがあなたの健康を一緒に考える

学生の健康をサポートする「健康管理センター」を設置しており、保健師が保健指導を行っています。学生は、応急手当や休養、健康相談、健康づくりなどで健康管理室を利用できます。また、学生相談室も開設しており、専門のカウンセラーが大学生活で生じるさまざまな悩みや問題について相談に乗っています。



STUDENT VOICE

理想の将来像を実現するための取り組みと環境が整っています

九州歯科大学はWADSキャンプやテュートリアル教育など独自の取り組みを行っています。WADSキャンプでは、教員や卒業生と共に「5年後、10年後の自分」を語り合い、将来像を明確化することで自立的な学びの目標を設定しています。

テュートリアル教育では、提示された課題に学生が主体的に取り組み、課題解決能力やチームワークを養います。

さらに本学は、教員との距離が近く、質問や相談も気軽にできるため、学修にも集中しやすい環境が大きな特徴だと思います。

このようなサポート体制と独自の学習を通じて、理想の歯科医師像を実現することが可能です。



歯学科 栗原慎一郎さん
熊本県 / 熊本県立熊本高校卒



KDUの
強み

5

あなたの未来をみつめた、 充実のサポート体制

学生になる前、そして卒業する時にも。

九州歯科大学では、初年次教育からプロフェッションとしての自覚を涵養するプログラムを作成し、1年次生の早期から病院における臨床実習を見学し、歯学教育を実体験しています。また、各学年において助言教員を配置することにより寄り添い教育の体制を構築しており、学生の学修体制の充実を図っています。

STUDENT VOICE

安心して学び、 将来を思い描ける環境です

九州歯科大学では、奨学金制度をはじめ、学生へのさまざまなサポート体制が整っています。同窓会には地域ごとに支部があり、地元の卒業生とのつながりを深め、進路や就職についての相談することもできます。こうした支援は、九州歯科大学が築いてきた長い歴史と、多くの卒業生の支えによって成り立っています。学生のうちから、同窓会が主催する講演会や交流会に参加できる点も、大きな魅力の一つです。また、後援会では国家試験対策講座の開催支援や課外活動への支援などを行っています。さらに、学内にはネットワーク環境や電子機器の充電スペースが整備されており、講義資料の閲覧や印刷も容易に行えるため、快適な学生生活を送ることができます。



歯学科 越戸実来さん
福岡県/福岡県立小倉高校卒

学生支援

奨学金制度

学業成績が優秀で、かつ経済的な理由で修学が困難な学生に対して、さまざまな奨学金制度があります。毎年多くの学生が、奨学金の貸与を受けながら勉学に励んでいます。

永松奨学会	永松奨学会は、初代学長である故・永松勝海先生のご遺族からの寄付金で発足された、九州歯科大学独自の奨学金制度です。創立50周年記念事業の一つとして1968年に発足し、今日まで学生の支援を続けてきました。学業優秀、品行方正、身体健康であり、経済的理由で修学が困難と認められる学生に対して、月額30,000円または50,000円の奨学金が無利息で貸与されます。
日本学生支援機構	人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な学生に対し、日本学生支援機構から貸与、給付される奨学金制度です。
地方公共団体や民間団体	地方公共団体や民間団体がそれぞれ独自の目的で行っている奨学金制度です。対象者や条件等はさまざまですが、多くの団体が奨学生の募集を行っています。

入学料・授業料の減免

日本学生支援機構の給付奨学金の対象者は、国の「高等教育の修学支援新制度」による入学料・授業料減免の支援を受けることができます。

授業料の分割納付

経済的理由により授業料の一括納付が困難な場合に、分割(2~5回)で納付する制度です。

入学者区分学費	県内者	県外者
入学金	282,000円	520,000円
授業料(年額)	535,800円	535,800円

学びの先への支援

歯科医師臨床研修

歯学科

歯学科では、卒業時に歯科医師国家試験を受験します。歯科医師臨床研修は、歯科医師免許取得後に課せられた1年以上の研修で、歯科医師に必要な生涯研修の第一歩です。診療研修終了後の進路には、臨床歯科医として診療所や総合病院での勤務をはじめ

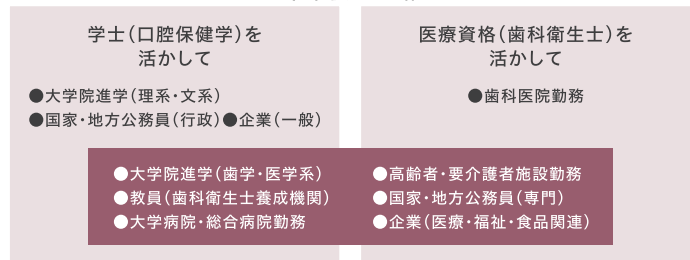
め、大学院へ進学し博士号を取得することもできます。行政職として厚生労働省や地方自治体などで歯科医療行政に携わったり、また附属病院での研修登録医制度を利用し専門医を目指すなど多彩なキャリアパスが用意されています。

就職支援

口腔保健学科

口腔保健学科では、1年次生から「キャリア・デザイン」という科目を開設し、保健医療分野をはじめ各種業界で活躍する卒業生の体験談を聴く機会を設けるなど、将来の就職を見据えた教育を行っています。またインターンシップも実施しており、医療機関だけでなく、医療関連会社や食品会社など一般企業への就職についてもサポート。就職支援室では、求人票の閲覧、求人情報の検索、就職に関する図書の貸し出しが常時可能です。

卒業後の進路



就職先・進学先一覧

進学	九州歯科大学大学院 他
公務員	高知県／兵庫県／周南市／鳥取市／宮崎市 他
病院・診療所	九州歯科大学附属病院／九州大学病院／長崎大学病院／広島大学病院／京都大学医学部附属病院／大阪大学歯学部附属病院／戸畑共立病院／伊東歯科口腔病院／山口赤十字病院／大分赤十字病院／鹿児島市立病院／篠栗病院／飯塚病院／岡山医療センター 他
企業等	社会保険診療報酬支払基金／株式会社ジーシー／株式会社ヨシダ／タカラベルモント株式会社／ケーオーデンタル株式会社／社会福祉法人豊後高田市社会福祉協議会／白水貿易株式会社／公益財団法人ライオン歯科衛生研究所／サンスター株式会社／大塚製薬株式会社／株式会社モリタ 他

後援会

後援会は、在学生の保護者で構成された組織です。学生生活や国家試験全般に関わる支援をしたり、教育・研究の向上発展や教育環境の整備充実を図ったり、大学の運営に積極的に協力しています。また、教職員と一体となって学生の生活指導に力を入れるとともに、福祉共済として後援会独自の保険によって、会員学生の万一の事故に備えての体制を整えています。

同窓会(歯学科・口腔保健学科)

同窓会は、立派な歯科医師や歯科衛生士を目指す学生の成長をサポートしています。各同窓会が主催するセミナーや学生交流会はとても好評で、歯科界や大学の発展にも広く貢献しており、その存在意義を示しています。また、日本全国各地で働いている同窓生の支援により、卒業後の進路も安心です。

口腔医学の総合大学 九州歯科大学の学び



人生は短く、術のみちは長い。

機会は逸し易く、試みは失敗すること多く、判断は難しい。

“医学の父”と仰がれているヒポクラテス(前460～377)が“スズカケの樹”のもとで多くの医学徒に医学を教え、医療のあり方を説いたと伝えられています。この由緒あるスズカケの葉を図案化し、“九歯大”の文字をアレンジしたものが現在の校章となっています。



九州歯科大学は、「口腔医学の総合大学」として、
プロフェッショナリズムとヒューマニズムの精神を備えた
歯科医療人の育成を目指し、
歯学部・そして大学院歯学研究科を備えて、
時代に即した教育改編を行っています。

歯学部

歯学部では、大学の掲げる3つの基本理念のもと、歯科医療や歯科医学の教育と研究におけるリーダーとして、国内外で活躍できる優秀な歯科医療人を育成します。

歯学科 P.17

口腔保健学科 P.23



STUDENT VOICE 在学生の声

歯学科

2

学年

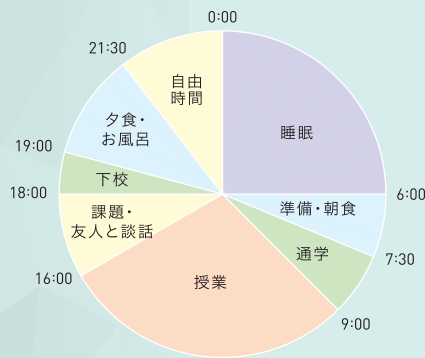
和嶋 萌花さん
[福岡県 小倉高等学校出身]

仲間と過ごす時間が、夢を加速させる

Q. 高校生・受験生の皆さんへメッセージを

単科大学だからこそ同期学年と仲を深められるのはもちろんですが、部活や学祭など、先輩後輩と仲良くなれる機会も沢山あり、とても楽しい時間を過ごせる大学だと思います！また、素敵な仲間たちと、6年間もの長い間歯科医師という同じ目標に向かって切磋琢磨するため、自然とモチベーションも上がります！ぜひ九州歯科大学で立派な歯科医師になるために頑張りましょう！

和嶋さんの1日の過ごし方(例)



和嶋さんの1週間の時間割

	月	火	水	木	金
1 時限目	社会歯科学I	保健医療統計学	成長発育総論	感染と免疫I	感染と免疫II
2 時限目	生体材料学総論	感染と免疫II	口腔顎顔面画像解剖学概論	感染と免疫I	感染と免疫II
3 時限目	組織学実習	口腔解剖学実習	研究室配属	分子生物学実習	臨床体験実習II
4 時限目	組織学実習	口腔解剖学実習	—	分子生物学実習	臨床体験実習II
5 時限目	—	—	—	—	—
放課後	—	—	—	—	—

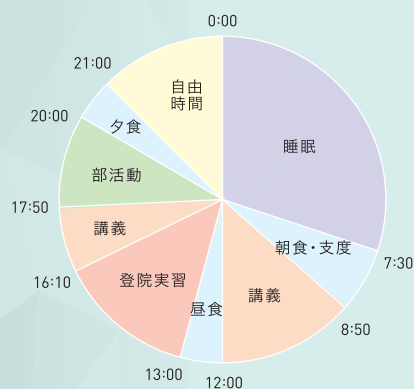


寄り添う力が、信頼を育てる

Q. 将来の目標を聞かせてください

患者さんの悩みを明らかにし、その解決ができる歯科医師になることです。患者さんは口腔内をはじめとして全身のことや生活のことなど様々な悩みを抱えていますが、その原因があまりわからないことが少なくないと思います。口腔環境や生活習慣など患者さん毎の状況に寄り添い、悩みの根本的な原因を少しでも取り除くことができるようになります。そのために、患者さんと信頼関係を築くことのできる歯科医師像について考えていきたいです。

松田さんの1日の過ごし方(例)



松田さんの1週間の時間割(5年前期)

	月	火	水	木	金
1 時限目	スキルアップ実習II	摂食機能療法学	臨床推論学II	歯科診療システム管理学	附属病院での登院実習
2 時限目	スキルアップ実習II	地域包括医療学	臨床推論学I	医学安全管理学	附属病院での登院実習
3 時限目	附属病院での登院実習	最新応用生命科学	附属病院での登院実習	附属病院での登院実習	附属病院での登院実習
4 時限目	附属病院での登院実習	プロフェッションナリズムIV	附属病院での登院実習	附属病院での登院実習	附属病院での登院実習
5 時限目	—	連携医学I	連携医学III	—	—
放課後	バイト	—	部活動(邦楽部)	—	部活動(フッパフォーゲル部)



歯学科

5

学年

松田 直也さん
[高知県 土佐高等学校出身]



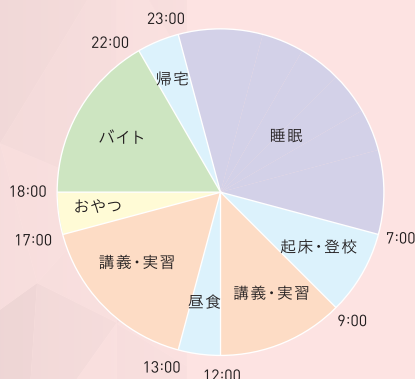
藤本 向日葵さん
[福岡県 筑紫丘高等学校出身]

汗と笑顔でつくる、学生生活の宝物

Q. 放課後や部活動の思い出を聞かせてください

放課後は部活やバイトに時間を使うことが多いです。部活は軟式テニス部に所属しており週に2回練習をしています。部活の思い出は、毎年夏にあるオールデンタル(全国の歯学部で競い合う体育大会)です。オールデンタルの後は同期で温泉に行き体を癒すのが恒例で、その後の観光では美味しいものを食べたり、映える写真を撮ったりして楽しい思い出をたくさん作れました。

藤本さんの1日の過ごし方(例)



藤本さんの1週間の時間割

	月	火	水	木	金
1 時限目	歯科放射線学	歯周病学	—	保健指導論	予防処置論
2 時限目	薬理学	歯科保存学	診療補助論	栄養科学	予防処置論
3 時限目	臨床検査学	予防処置実習1	診療補助実習1	微生物・感染症学	口腔健康増進学
4 時限目	疾病とその病態	予防処置実習1	診療補助実習1	微生物・感染症学	キャンパスガイダンス
5 時限目	—	—	—	—	—
放課後	部活	—	—	部活	バイト

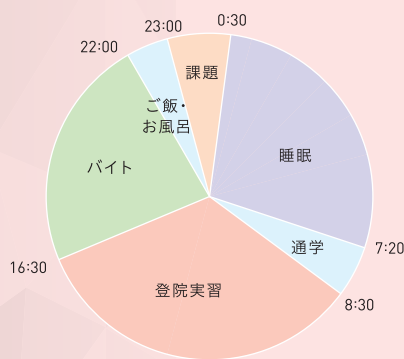


仲間と先生に恵まれた、心強い学びの場

Q. 好きな授業とおすすめポイントを教えてください

1年生のころに学習する口腔組織学や口腔解剖学は今まで知らなかった口腔の仕組みなどを知ることができて、授業を受けるのが毎回楽しみだった記憶があります。暗記科目なので試験前はコツコツ頑張って覚えました。先生が模型を持ってきてくださって、授業中に観察させてもらえます。実際に模型を見ながら学ぶのでよく理解できました。

荒嶽さんの1日の過ごし方(例)



荒嶽さんの1週間の時間割

	月	火	水	木	金
1 時限目	臨床実習	臨床実習	—	回復期口腔機能管理学	—
2 時限目	臨床実習	臨床実習	臨床実習	社会環境医学	歯科麻酔学
3 時限目	臨床実習	臨床実習	臨床実習	医療コミュニケーション	基礎看護学
4 時限目	臨床実習	臨床実習	臨床実習	歯科衛生学演習	基礎看護学
5 時限目	—	—	—	—	—
放課後	部活	バイト	部活	バイト	部活



荒嶽 佳乃さん
[福岡県 自由ヶ丘高等学校出身]



歯学科

SCHOOL OF DENTISTRY

知識教育・技術教育・態度教育を3本の柱とし、
地域に貢献する人間味あふれる
歯科医師の育成を目指しています



1 年次



歯科医師への素養教育

将来、全人的な歯科医療を展開する歯科医師として具備すべき、多角的な視点、倫理観やコミュニケーション能力などを習得するために、幅広い人文科学系科目や社会科学系科目を学びます。また専門科目を学ぶ上で求められる基礎学力の習得のため、理科や数学、情報学、語学など、高校までの学びを発展させた授業も開講されます。

2 年次



基礎歯科医学教育

解剖学や生理学、生化学などの講義や実習を通じて、ヒトの体の正常構造や機能、生命現象に関する知識を学びます。さらに微生物学や病理学など直接的な疾患に関わる講義も開講されます。「研究室配属」では、基礎系、臨床系問わず、希望する分野に一定期間配属されて、研究に取り組み、歯科医学研究の奥深さや楽しさを体感します。

3 年次



歯科臨床基礎教育

臨床歯学の授業がスタートします。う蝕や歯周病をはじめ、臨床の現場で高頻度に遭遇する疾患の診断や治療、予防につながる専門知識や技術を授業や実習で習得します。また、これに必要な基礎知識として、薬の作用や歯科治療に用いる生体材料に関する授業も開講されます。後期には、課題解決能力の向上のための少人数のグループ学修が実施されます。



歯科医師への プロフェッショナル教育

5年次に引き続き臨床実習を行い、総仕上げとして、臨床研修開始に際して必要な基本的な臨床能力を評価する実技試験(Post-CC-PX)が実施されます。また、「総合講義Ⅰ・Ⅱ」の講義の中で、6年間にわたる歯科医学教育の総仕上げを行い、本学の卒業試験や卒業前に控えている歯科医師国家試験に向けて、集中的な学修に取り組みます。

5年次



歯科臨床実践教育

これまでに培ってきた歯科医学の知識を臨床の現場で応用する診療参加型臨床実習が実施され、指導医の下で歯科診療に関わる様々な実践的な知識や技術を学びます。また、高齢化に伴い増加している全身疾患を有する歯科患者の状態を的確に把握し、医科との連携下で適切に対応するため、「連携医学」の講義の中で全身疾患に関する基本的知識を学びます。

4年次



歯科臨床力教育

3年次に引き続き、臨床歯学の多彩な講義と実習が開講され、歯科医学全般にわたる必須の知識や臨床実習に対応できるスキルを学びます。これらの知識と技能を十分に習得しているかどうか、年度末に2種の共用試験(CBT、OSCE)で評価されます。到達基準に達した学生には「臨床実習生(歯学)」の資格が付与され、臨床実習に参加可能となります。

国家試験合格後の学び

九州歯科大学附属病院 歯科医師臨床研修

総合的な診療能力を修得し、生涯研修の第1歩となる1年間

医療や介護の一層の需要増加が予想される超高齢社会において、住み慣れた地域で最後まで生活できるよう地域包括ケアシステムの構築が進められています。そのような社会環境の変化の中で、全身の健康を守るという視点に立ち、多職種と連携した適切な歯科医療が提供できる歯科医師が求められており、また、歯科医療のすそ野の広がりに伴い、多様な社会的ニーズに応えられる歯科医師への需要も拡大してきています。九州歯科大学附属病院では、歯科医師臨床研修の基本理念を尊重しつつ、九州歯科大学附属病院の基本理念と基本姿勢に基づき、そのような社会的ニーズに対応できる人材を育成するために多彩なプログラムを準備しており、以下のような人材を求めています。

1. ヒューマニズムに富み、より高いレベルのプロフェッショナルリズム醸成を目指す人材
2. 口の健康増進を通じて健康寿命の延伸に働きかけることを目指す人材
3. 多職種と連携し、地域に密着した歯科医療の展開を目指す人材
4. 患者のライフステージに寄り添う歯科医療を目指す人材
5. 高度な専門的歯科医療の基盤となる知識・技術の修得を目指す人材



基礎教育

BASIC EDUCATION

広い視野を持った社会性や倫理観を身に付けながら、
専門教育を受けるための土台を習得する。



歯科医療人には、患者さんと接し多くの人と協力して治療を進めていくうえで、異質なものに共感し理解する包容力やコミュニケーション能力が求められます。専門的な知識・技術だけでなく、広い視野を持った社会性や倫理観も必要です。入学してはじめての1年半はこうした人間性を培う教育を行います。同時に専門教育を受けるために必要な基礎的教科も学習し、高校までの勉強とは違う「学問」に触れ、真の学究心を身につけます。



PICK UP! [教育方針]

研究室配属

本学では、将来、科学的な視点をもって歯科医療に取り組める歯科医療人を育てることを目的に、歯学科2年次に「研究室配属」を行っています。臨床分野から基礎分野まで、さまざまな研究室の教員が研究テーマを提示し、その中から学生自身が「やってみたい」と思うテーマを選んで研究室を決定します。配属後は、1年間を通して研究室に所属し、歯や口の健康に関する最新の研究に取り組みます。実験や調査、論文の読み方の学習、演習などを通して、研究の大切さを理解するとともに、実験の進め方や結果のまとめ方、考え方の基本を学びます。研究期間の最後には、得られた成果をポスターやスライドにまとめて発表します。特に優れた発表を行った学生は表彰されます。さらに、研究に強い関心をもつ学生は、教員の指導のもとで研究を続ける「Student Research Projects (SRP)」に参加することもできます。希望者は、世界規模で行われる歯科学学生の研究発表会(スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム)への参加を目標に、より発展的な研究に挑戦することも可能です。



専門教育

SPECIALIZED EDUCATION

多くの実習でスキルアップをはかる。歯科医学の基礎を幅広く学習するとともに、



生体の構造及び機能、病気の成り立ちや予防、薬の薬理作用、修復に用いる生体材料などについて学びます。歯学は医学の一分野であり、口腔だけでなく医学全般に共通した知識が必要です。基礎系科目は臨床系科目を学ぶためのベースとなる科目であり、歯科医療人としての適切な判断力の会得と向上にも不可欠です。臨床系科目においては、予防歯科をはじめ、小児歯科や矯正歯科、歯髄・歯周疾患等の歯学分野はもちろん、口腔ケアと全身健康管理などについて学習します。また、将来の方向性を考慮した開業医として必要な知識や隣接医学について学びます。



PICK UP! [講義]

口腔インプラント学

口腔インプラント学では、歯の欠損に対してインプラントを用いて機能と形態を回復する欠損補綴(ほてつ)治療について、基礎から臨床までを体系的に学びます。講義では、口腔インプラント治療に必要な診査・診断、外科処置、補綴処置、さらにメインテナンスまでを総合的に理解することを目的としています。対話型の授業を積極的に取り入れ、学生に問いかけながら議論を行うことで、単なる知識の習得にとどまらず、臨床現場で求められる判断力や思考力を養います。実習では、実際の症例を用いたCT画像解析や読影を通じて術前診断を行い、模型を用いたインプラント埋入手術、補綴治療、メインテナンスまでの一連の治療の流れを実践的に学びます。さらに、口腔内スキャナなどのデジタル技術を活用した実習も行い、近年進展するデジタル化に対応したインプラント治療について理解を深めます。これらを通して、安全で確実なインプラント治療を提供するために必要な知識と技術を身に付けます。



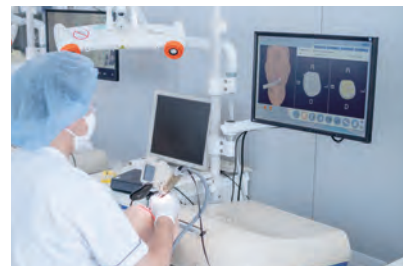
臨床実習

CLINICAL PRACTICUM

実際の医療現場を体験し、身に付けた知識と技術を確認たる「力」にする。



5年次から6年次にかけては、直接患者さんを診る診療参加型臨床実習を行います。プライマリ・ケアを中心とした総合診療科や各専門診療科での実習を通じて、患者さんの訴えを聴き、痛みや悩みを受け止めることで歯科医師としての責任を自覚します。さらに、一般開業医では経験しにくい専門的な疾患や治療法も学びます。加えて、患者さんとの会話や電話対応、身だしなみ、感染予防の基本、そして指導医や歯科衛生士とのコミュニケーションも欠かせない学びです。



PICK UP! [実習]

クリニカルクラークシップ

クリニカルクラークシップ(クリクラ)は診療参加型臨床実習のことで、本学では卒業時に求められる歯科医師として必要な臨床能力を修得させるために、歯学科の5年次から6年次にかけて本学附属病院においてクリクラを中心とした臨床教育を行っています。令和5年に歯科医師法が改正され、臨床実習生は診療参加型臨床実習開始前に、本学では4年次で実施している公的な試験である共用試験に合格すると臨床実習生(歯学)の認定証が交付され、大学が行う臨床実習において、歯科医師の指導の下、歯科医療に関する知識及び技能を修得するための歯科医療を行うことができるようになりました。従来から本学ではクリクラが教育課程の重要な要と考え、地域の患者さんの協力を得ながら体制を構築してきました。結果的に現在では全国の歯科大学の中でも有数のクリクラのための教育環境を整えることができ、臨床実習生は約1年間、自分の担当患者を持ち、一口腔単位での診療経験と併せて、症例ベースでも多種多様な経験を多く積むことができます。このような教育環境は本学の特徴であり、今では他大学にはない大きな強みとなっています。



求める学生像・育成基本方針

アドミッションポリシー(このような学生を求めています)

ADMISSION POLICY

1. 歯学及び歯科医療の修得に必要な幅広い基礎知識及び教養を備えている人
2. 論理的思考能力、判断能力及び問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
3. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
4. 歯学及び歯科医療について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学修意欲を持続できる人
5. 歯科医師として地域住民の健康増進に貢献しようという強い意欲を持った人
6. 歯科医療活動により国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

入学者選抜の基本方針

入学者選抜方法における評価項目
(選抜方法と求める学生像の関係性)

学力を構成する 3つの要素		知識・技能	思考力・判断力・表現力等/ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度			
求める学生像▶	知識 教養	思考力 判断力	表現力 協調性	意欲	地域貢献	国際貢献
選抜方法▼						
大学入学共通テスト	○	○				
個別学力検査等	外国語(英語)	○	○			
	数学	○	○			
	理科総合	○	○	○		
	面接	○	○	○	○	○

カリキュラムポリシー(このような教育を行います)

CURRICULUM POLICY

1. 全人的歯科医療を展開する者として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目・社会科学系科目及びコミュニケーション能力を培う科目を充実させる
2. 歯科医療の高度な専門知識・技能を養成するために、専門基礎分野及び専門臨床分野科目及びプロフェッショナルリズム関連科目を充実させる
3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために、ロジカル及びクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる
4. 全ての世代において全身の健康増進の視点に立った安全な歯科医療を実践するために、関連医学科目を充実させる
5. 多職種連携の重要性を理解するために、学外施設での臨床実習科目を充実させる
6. 問題解決能力及び研究能力を醸成するために、テュートリアル教育・研究室配属などの科目を充実させる
7. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる

教育課程実施方針

九州歯科大学履修規程に定められた単位を6年間で修得する。

ディプロマポリシー(このような人材を育てます)

DIPLOMA POLICY

1. 豊かな教養、人間性、学識を有し、患者中心の全人的歯科医療を提供する基礎的能力が備わっていること
2. 歯科医師として求められる専門知識・技能・態度が備わっていること
3. リサーチマインドを涵養し、科学的根拠に基づいた歯科医療を実践する方法論を身につけていること
4. 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った安全な歯科医療活動をできる基礎的能力が備わっていること
5. 多職種と連携し、歯科医療を通じて地域社会に貢献する基礎的能力が備わっていること
6. 問題の自己解決能力をもって歯科医療の発展に寄与する基礎的能力が備わっていること
7. 国際的な視野に立って歯科医療活動を行う基礎的能力が備わっていること

学位授与基準

学生は九州歯科大学履修規程に定める修了要件を満たし、ディプロマポリシーを満たした者に、学士(歯学)の学位を授与する。

卒業コンピテンシー領域

ディプロマポリシーを満たすのに必要な知識と能力をコンピテンシーという。

1. 歯科医療人としての素養
2. プロフェッショナルリズム
3. 歯科医学の専門的知識
4. 科学的根拠に基づく歯科医療の実践
5. 全ての世代に対する幅広い歯科医療の実践
6. 多職種連携の実践
7. グローバルマインド

口腔保健学科

SCHOOL OF ORAL HEALTH SCIENCES

優れた理解力・思考力・倫理観を併せ持ち、
将来的な社会的ニーズに適応できる口腔保健学の知識・技術を兼ね備えた
歯科衛生士の育成を目指しています



1
年次



歯科衛生士への素養教育

豊かな人間性と倫理観を育むため、幅広い教養系科目や「解剖学」などの基礎系科目を学びます。また、歯学科との合同研修「WADS キャンプ」などを通じて、チーム医療の重要性や専門職としての心構えを早期から養います。さらに本学科の特色である「食べ物と健康」などの栄養関連科目もスタートし、全身の健康を支える基礎知識を習得します。

2
年次



専門基礎・臨床基礎教育

「微生物学」や「病理学」、「薬理学」などの専門系基礎科目や、臨床歯科医学に関する授業も開講されます。また、歯科衛生士の三大業務である「歯科予防処置」「歯科診療補助」「歯科保健指導」に関する講義と実習が本格化します。相互実習などを通じて、臨床現場で必要となる確かな技術と知識の土台を固め、臨床実習への準備を整えます。



歯科衛生士への プロフェッショナル教育

4年間の集大成として「卒業研究」に取り組み、自ら課題を見つけ解決するリサーチマインドを確立します。「総合演習」では、知識と技術の総仕上げを行い、歯科衛生士国家試験に向けた万全の対策を行います。高度化する医療現場でリーダーシップを発揮し、多職種連携を牽引できる能力とともに国際的な視点を備えた歯科衛生士を目指します。

3 年次



歯科臨床実践教育

大学附属病院や外部の医療・福祉施設での「臨床・臨地実習」が始まり、多様なライフステージの患者さんに接して実践能力を磨きます。また、臨床系応用科目の多彩な講義や実習を通じて、多職種連携のもとでの摂食・嚥下リハビリテーションや周術期・回復期口腔機能管理などを学び、高度化する歯科医療に対応できる応用力と広い視野を養います。

ならではの学び

臨床体験実習Ⅱ

九州歯科大学附属病院での患者体験や病院見学実習、PBL実習(問題解決型実習)を通して、患者さんの悩みや苦しみを理解し、患者さん本位の歯科医療を実践できる歯科医療人を育成することを目指します。さらに、医療現場における問題点を指摘し、改善策が提案できる能力を引き出せるよう、また歯学科と口腔保健学科の学生との合同実習により歯科医師と歯科衛生士の役割を知り、チーム医療の重要性について理解することで、学生の間からプロフェッショナルリズムを育てていきます。



医療コミュニケーション

患者さんと信頼関係を築くために、コミュニケーション能力の基礎と医療面接に活用できる基本的態度を身に付けます。講義でコミュニケーションスキルを学び、ロールプレイや模擬患者を用いた演習と省察(振り返り)により、コミュニケーション能力の向上を図ります。

プロフェッショナルリズムⅡ

本科目では、一連の講義や演習を通じて、学生が将来目指すべき歯科医療人像を明確にします。これにより、今後の教育で修得すべき知識・技能の重要性を理解し、併せて学習行動計画表を作成していきます。社会的責任を担う医療人としての自覚を目的としています。

基礎教育

BASIC EDUCATION

広い視野を持った社会性や倫理観を身に付けながら、
専門教育を受けるための土台を習得する。

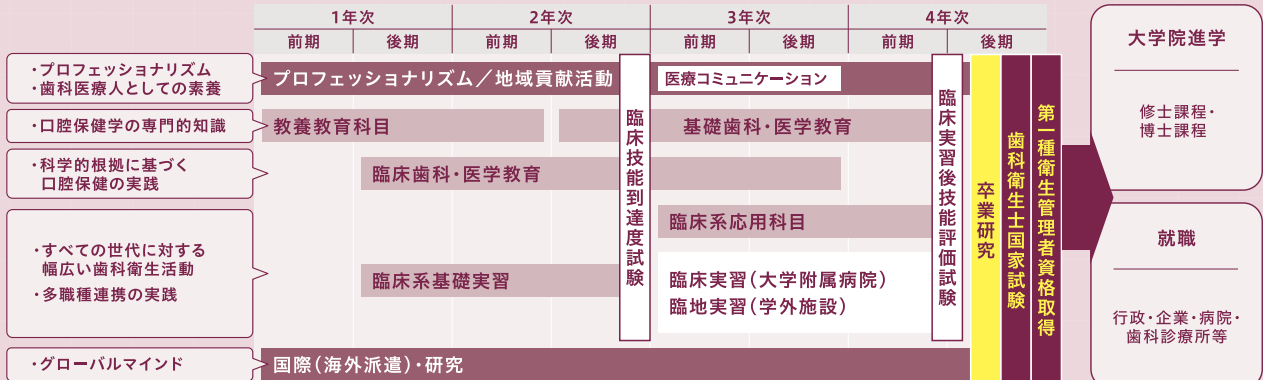


口腔保健学科では、患者さんと向き合い、多くの医療職と協力して治療を進めていくために、自分とは異なる価値観を理解し、共感する包容力やコミュニケーション能力が求められます。そのため本学科では、専門的な知識や技術だけでなく、広い視野を持った社会性や倫理観を備えた歯科医療人の育成を重視しています。入学後はじめの1年半は、こうした人間性を培う教育を中心にを行います。同時に、専門教育を受けるために必要な基礎科目を学び、高校までの学習とは異なる「学問」に触れることで、主体的に学び続ける姿勢と真の学究心を身につけます。



PICK UP! [学びが、実践につながる4年間]

以下の教育カリキュラムマップに沿って、優れた理解力・思考力・倫理観を併せ持ち、将来的な社会ニーズに適應できる、歯科医学の知識・技術を兼ね備えた人材を育成します。



専門教育

SPECIALIZED EDUCATION

口腔保健学の基礎を幅広く学習するとともに、多くの実習でスキルアップをはかる。



口腔保健学は、医学領域の一分野のため、口腔保健学科では基礎医学系専門科目を学びます。基礎医学系専門科目には、ヒトの全身構造と機能を学ぶ「基礎生命科学」や、ヒトの口腔を中心とした構造と機能を学ぶ「基礎摂食嚥下学」があります。また、基礎と臨床を橋渡しする科目として「病理学」や「薬理学」などがあり、これらの知識は臨床の現場に欠かせない基礎知識です。

一方で臨床系科目では、歯科衛生士や口腔保健学研究者となるために必要な知識・技術を習得します。臨床歯科医学一般と「歯科予備処置」や「歯科診療の補助」、「保健指導」などを学びます。



PICK UP! [講義と実習]

歯科衛生士の三大業務

(歯科予防処置・歯科診療補助・歯科保健指導)

歯科衛生士業務の中核をなす「歯科予防処置」「歯科診療補助」「歯科保健指導」について、基礎理論から臨床応用までを講義と実習を通じて段階的に修得します。歯科予防処置ではスクレーピングやフッ化物塗布などの技術を、歯科診療補助では円滑な治療のサポートや安全管理を、歯科保健指導では患者さんの行動変容を促すコミュニケーション技法などを学びます。相互実習やシミュレーション実習を繰り返すことで、多くの患者さんに対応しうる、臨床現場で即戦力となる確かな実践力を養います。

摂食嚥下リハビリテーション学

超高齢社会において需要が高まる「食べる機能」の障害に対し、歯科衛生士としての役割と支援方法を学びます。摂食嚥下のメカニズムや障害の原因を理解し、スクリーニング検査や機能訓練(間接・直接訓練)、食事介助、口腔ケアの技術を講義と実習を通して修得します。また、医師や管理栄養士など多職種との連携の重要性を学び、高齢者や要介護者の「口から食べる楽しみ」を支え、誤嚥性肺炎を予防するための包括的なリハビリテーション能力を養います。

臨床実習

CLINICAL PRACTICUM

実際の医療現場を体験し、身に付けた知識と技術を確固たる「力」にする。



口腔保健学科では、九州歯科大学附属病院や外部の病院・施設で実際に患者さんと接する臨床実習を行っています。患者さんの訴えや悩みを受け止め身をもって体験することで、これまでの学修がどのように活かされるのかを確認し、歯科医療人としての責任の重さを自覚することができます。臨床実習で学ぶ専門的な技術や知識は、卒業後の臨床や研究に直結する重要なものです。



PICK UP! [実習]

体系化された臨床実習

3年次より開始される臨床実習は、講義や基礎実習で培った知識・技術・態度を臨床現場で統合し、実践力を養う集大成のカリキュラムです。段階的に構成された「基礎」「応用」「発展」の3つの実習を通じて、高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた歯科衛生士を育成します。

まず「基礎臨床実習」では、大学附属病院での診療参加型実習などを通じ、患者さんの心理や医療安全、感染予防、プロフェッショナリズムの基礎を確立します。続く「応用臨床実習」では、各専門診療科や学外の保健・医療・福祉施設において、歯科予防処置、診療補助、歯科保健指導の実践に

加え、多職種連携や地域医療の実際を経験し、チーム医療の一員としての役割を体得します。

4年次の「発展臨床実習」では、これまでの学びを深化させ、それぞれの希望する進路先で求められる専門的知識・技術・態度を習熟させます。周術期口腔機能管理や摂食嚥下リハビリテーションを含む高度先進医療への対応や、歯科衛生過程に基づいた科学的根拠のある介入を実践することで、多様な患者さんへの対応能力やコミュニケーション能力を高め、臨床現場で即戦力となるための専門的知識・技術・態度と自信を築きます。

求める学生像・育成基本方針

アドミッションポリシー(このような学生を求めています)

ADMISSION POLICY

1. 口腔保健学教育を受けるために必要な幅広い基礎知識及び教養を備えている人
2. 論理的思考能力、判断能力及び問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組む人
3. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
4. 口腔保健及び保健医療福祉に強い目的意識を持ち、生涯を通じて学修意欲を持続できる人
5. 歯科衛生士として地域住民の健康増進に貢献しようという強い意欲を持った人
6. 口腔保健活動により国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

入学者選抜の基本方針

入学者選抜方法における評価項目
(選抜方法と求める学生像の関係性)

学力を構成する 3つの要素		知識・技能	思考力・判断力・表現力等 / 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度				
求める学生像▶	選抜方法▼	知識 教養	思考力 判断力	表現力 協調性	意欲	地域貢献	国際貢献
大学入学共通テスト		○	○				
個別 学力 検査 等	外国語(英語)	○	○				
	理科総合	○	○	○			
	面接	○	○	○	○	○	○

カリキュラムポリシー(このような教育を行います)

CURRICULUM POLICY

1. 全人的歯科医療を展開する者として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目、社会科学系科目及びコミュニケーションを培う科目を充実させる
2. 歯科衛生士として学修することを求められる口腔保健学の知識、プロフェッショナリズム関連科目を充実させる
3. 科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践するために、ロジカル及びクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる
4. 全ての世代において全身の健康増進の視点に立った歯科衛生に関する科目を充実させる
5. 保健・医療・福祉などの分野と連携できる人材を育成するために、医学・看護学一般・食育と栄養・摂食嚥下に関する科目を充実させる
6. 問題解決能力及び研究能力を醸成するために、卒業研究などの科目を充実させる
7. 国際的な視野を広げ、医療の国際化に対応できる歯科衛生士を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる

教育課程実施方針

九州歯科大学履修規程に定められた単位を4年間で修得する。

ディプロマポリシー(このような人材を育てます)

DIPLOMA POLICY

1. 豊かな教養、人間性、学識を有し、地域住民に対して十分な保健医療福祉活動ができる基礎的能力が備わっていること
2. 歯科衛生士として求められる専門的知識・技術・態度が備わっていること
3. リサーチマインドを涵養し、科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践する方法論を身につけていること
4. 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った安全な歯科衛生活動をできる基礎的能力が備わっていること
5. 多職種とともに地域の保健・医療・福祉の分野で社会貢献できる基礎的能力が備わっていること
6. 問題の自己解決能力をもって地域保健活動に寄与する研究を展開する基礎的能力が備わっていること
7. 国際的な視野に立って口腔保健活動を行う基礎的能力が備わっていること

学位授与基準

学生は九州歯科大学履修規程に定める修了要件を満たし、ディプロマポリシーを満たした者に、学士(口腔保健学)の学位を授与する。

卒業コンピテンシー領域

ディプロマポリシーを満たすのに必要な知識と能力をコンピテンシーという。

1. 歯科医療人としての素養
2. プロフェッショナリズム
3. 口腔保健学の知識
4. 科学的根拠に基づく口腔保健の実践
5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動
6. 多職種連携の実践
7. グローバルマインド

大学院歯学研究科

GRADUATE SCHOOL OF DENTISTRY



歯学専攻

博士課程

口腔医学分野における高度で体系的な専門知識を修得し、自立して研究を計画・遂行・発信できる能力を備えた歯科医療人及び研究者を養成します。高い倫理観と社会的責任を基盤に、基礎から臨床にまたがる研究を通じて新たな知見を創出し、その成果を国内外へ発信することで、アジアトップレベルの歯医学研究を展開し、将来の歯科医学・歯科医療の発展と社会実装を担う人材の育成を目指しています。

世界をリードする 高度歯科医療人へ。

医療・研究倫理と生命科学を土台に、エビデンスに基づく論理的思考力と、自立して研究をやり抜く力を段階的に伸ばします。地域性を活かした医歯工学・多職種連携や連携機関での実践、国際学会参加を通じ、先端歯科医学を担うための国際的視野を育むカリキュラムです。



Message of Graduate 卒業生からのメッセージ

自分の可能性を信じて 夢を実現してください

私は口腔の健康を通じて社会貢献したいと考え、本学に進学しました。歯科医学を学ぶ中で、臨床の奥深さや研究の面白さに惹かれて大学教員となり、現在はアメリカで基礎研究に専念しています。教育・研究・臨床に携わる中で、日々新たな発見があり、刺激を受けながら充実した毎日を過ごしています。

歯科医学は幅広く奥深い学問です。診療所、大学、企業、行政など多様な場で活躍でき、そのどれもが社会貢献につながります。本学のきめ細やかな教育は、皆さんが思い描く理想の歯科医療従事者へと成長できる環境であると感じています。



助教

九州歯科大学
顎口腔機能矯正学分野 助教
白川 智彦さん（歯学科64期卒）

大学院では歯科医学における高度な知識・技術を習得する一方で、大半の期間を研究活動にあて、研究成果を上げるとともに研究指導能力を養う研さんを積んでいます。修士課程(口腔保健学専攻)では2年間、博士課程(歯学専攻)では4年間の課程を修了し、研究から得た知見をまとめた学位論文の審査に合格すれば、修士(口腔保健学)、博士(歯学)の学位が授与されます。1966年4月の設立以来、他大学出身者や留学生を含む900名以上の大学院生を受け入れています。

口腔保健学専攻 修士課程

地域から国際社会までを見据えた口腔保健・医療・福祉活動を先導できる歯科医療人像を掲げ、その育成を目指します。科学的根拠にもとづき口腔の健康づくりをデザインし、自ら実行し、医療・福祉・行政など多様な現場と協働する力を磨くことで、臨床・公衆衛生・教育・行政など幅広いフィールドで“選ばれるスペシャリスト”として活躍できる人材を育成します。

未来の口腔保健を 動かす力を育てる。

地域歯科保健の現場を起点に、口腔保健学と臨床研究を結びつけて学ぶ実践型カリキュラム。医・歯・工・看護など多様な専門職と協働し、歯科保健福祉を科学的に捉え、英語での情報発信や国際学会発表を通じて、世界のフィールドで活躍できる力を磨きます。



Message of Graduate 卒業生からのメッセージ

活躍の幅を広げましょう

私は九州歯科大学口腔保健学科を卒業後、修士課程を経て博士課程に進学し、生体材料学分野で研究を行っています。また、歯科衛生士として大学附属病院や歯科診療所で日々臨床にも携わっています。令和8年度からは日本学術振興会DC1特別研究員として研究に取り組む予定です。将来は、診療・行政・企業・研究・教育など多様な場で活躍できる歯科衛生士を育成する教員を目指しています。大学で学ぶ歯科衛生士は、高い専門性を生かして幅広い進路に挑戦できます。皆さんもぜひ、自分らしいキャリアを切り拓いていきましょう。



博士課程

九州歯科大学
大学院博士課程1年
松尾 美咲さん(口腔保健学科10期卒)



Campus Life

キャンパスライフ

CALENDAR

キャンパスカレンダー

入学式から卒業式まで、学びの日々に行事という彩りを添える一年間。仲間との出会いや経験を通して、九州歯科大学での学生生活が形づくられていきます。

楽しいイベントが目押し!



4/ 入学式

九州歯科大学の入学式は、新たに歯学の道を志す学生を迎える、大学生活の第一歩となる大切な式典です。新入生一人ひとりが、歯科医療人を目指す決意を新たにしている節目となっています。



8/ 夏のオールデンタル

全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)は、全国の歯学部が参加する歯学生のための公式な総合体育大会です。歯学部の運動部活動の中心となる、重要な全国大会として開催されています。



4
APRIL

- 入学式
- 前期授業開始

5
MAY

- 創立記念日
- WADSキャンプ

6
JUNE

7
JULY

- 九州地区
大学体育大会

8
AUGUST

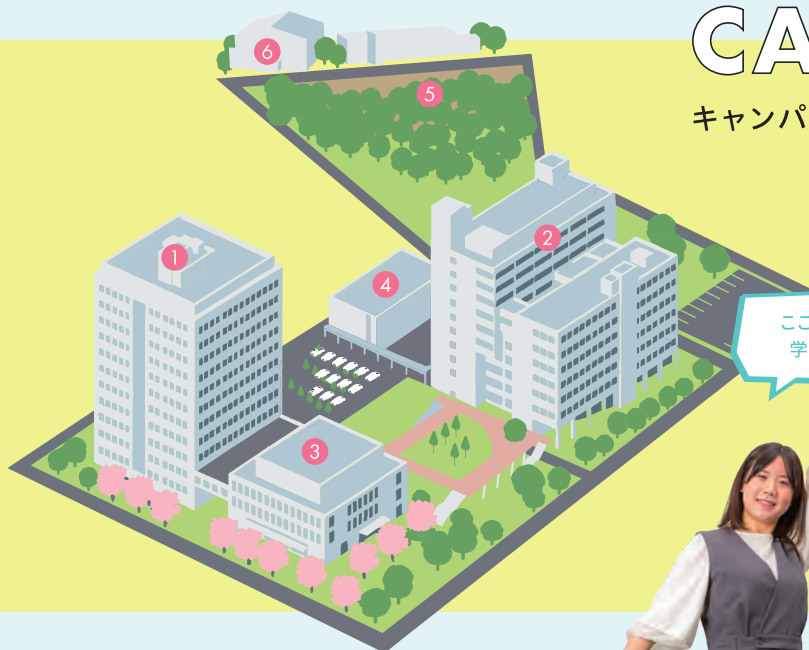
- 夏季休暇
- 全日本歯科学生
総合体育大会
(オールデンタル)夏期部門

9
SEPTEMBER

- 後期
授業開始

CAMPUS MAP

キャンパスマップ



ここが私たちの
学び舎です!



① 大学本館

毎年すごい
盛り上がりです!



10 / 体育祭

九州歯科大学の体育祭は、学年や学科の垣根を越えて学生同士が交流を深める、毎年恒例の行事です。競技や応援を通して一体感が生まれ、キャンパスが活気に包まれます。



11 / 慰霊祭

慰霊祭は、歯科医療の発展のため、本学に御遺体を提供してくださった方々に感謝と敬意を捧げ、その御霊を慰めるために執り行われる大切な式典です。御遺族の皆さまにもご参列いただき、大学関係者とともに心を込めて冥福をお祈りします。

卒業
おめでとう!



3

MARCH

●卒業式

2

FEBRUARY

●春季休暇

1

JANUARY

12

DECEMBER

- 冬季休暇
- 全日本歯科学生総合体育大会 (オールデンタル) 冬季部門

10

OCTOBER

- 体育祭
- 歯大祭

11

NOVEMBER

●慰霊祭



10 / 歯大祭

歯大祭は、九州歯科大学で開催される大学祭です。地域の方々や北九州地区の他大学生も来場し、学内が一体となって盛り上がる、毎年恒例の大きなイベントです。サークルによる出店などで、キャンパスは活気にあふれます。



後半もイベントが
盛りだくさん!



3 / 卒業式

九州歯科大学の卒業式は、仲間とともに過ごした学生生活を振り返りながら、歯科医療の世界へ踏み出す節目の日です。学びの日々を胸に、それぞれの未来へと旅立ちます。



2 附属病院



3 講堂



4 動物実験施設・解剖棟



5 グラウンド



6 体育館

学びに必要な施設が
ぎゅっと凝縮!



CLUB & CIRCLE

クラブ・同好会

九州歯科大学では、学生の自主運営によるクラブ・同好会活動が活発に行われています。体育会系から文化系まで幅広い分野の団体があり、大会や発表会、演奏会などを通して日々活動しています。共通の興味や価値観を持つ仲間と出会える場です。

夢中になれる時間があるって、
思ってた以上に楽しい。
大学生活に+αの楽しさを!



35 Clubs & Circles

体育会系

- 空手道
- 弓道
- 剣道
- 硬式テニス
- 軟式テニス
- 硬式野球
- 準硬式野球
- ゴルフ
- サッカー
- 柔道
- 水泳
- 卓球
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- ボウリング
- ラグビー
- 陸上競技
- ワンダーフォーゲル

迷ったら、まずは見学へ。
きっと、気になる場所が
見つかります!



第57回日本歯科学学生総合体育大会 水泳部門 第1位

水泳部主将 能登原 輝

今回、水泳部としてデンタル大会で優勝できたことを心からうれしく思います。日々の厳しい練習の中で、部員同士が励まし合い、目標に向かって努力してきた成果が結果につながりました。水泳部の魅力は、競技力だけでなく、仲間との絆や粘り強さ、人としての成長を実感できる点です。今回の経験を糧に、今後もさらに高みを目指して頑張りたいです。



文化系

- オイルレッド(ダンス)
- 写真
- 能楽研究会
- 自動車
- 美術
- 茶道同好会
- ビリヤード
- ブルーノーツ
- コーラス
- 囲碁
- 邦楽
- 広報アンバサダー
- 映画研究
- むしばクラブ(ボランティア)
- Medical Engineering研究会
- 軽音楽部ROM

学びの日常も、遊びの時間も。 北九州から広がる

① ジアウトレット北九州

多彩な店舗が集う大型施設で、日々の買い物や気分転換に役立つ憩いの場です。



JR小倉駅から

西鉄バス「歯大前」まで約25分 / バス停から大学まで徒歩約1分

JR南小倉駅から

西鉄バス「歯大前」まで約5分 / バス停から大学まで徒歩約1分

JR八幡駅から

西鉄バス「到津三叉路」まで約25分 / バス停から大学まで徒歩約3分

西鉄バス「歯大前」まで約30分 / バス停から大学まで徒歩約1分



ショッピングや観光スポットにも気軽に行けます。北九州ライフがもっと楽しくなる!

抜群の交通アクセス!



JR小倉駅

JRで
約7分
南小倉-小倉間



JR博多駅

新幹線で

約16分



北九州空港

バスで

約30分



スペースワールド駅

JR鹿児島本線で

約16分

福岡市の天神や博多にも簡単にアクセスできるので、ショッピングやカフェ巡り、友達との遊びにもすごく便利です! 週末のお出かけが楽しみになります。



北九州は歴史も自然も街のにぎわいも全部そろった魅力あふれる街！
 買い物や散歩、夜景まで幅広く楽しめて、
 学生生活の充実度が本当に高いと感じています。



5 門司港レトロ

歴史的建築が残る港町で、散歩しながら異国情緒と落ち着いた時間を楽しめます。



3 リバーウォーク北九州

文化や娯楽が集まる複合施設で、学外での気分転換や交流に適した空間です。



2 小倉城

歴史を感じる名所で、学びと癒やしを得られる落ち着いた散歩スポットです。



4 皿倉山

北九州を一望できる自然豊かな山で、リフレッシュに最適です。新日本三大夜景にも認定されています。



博多・天神エリアも意外と近い！



JR博多駅

新幹線で
約16分
 小倉ー博多間



天神エリア

地下鉄空港線で

約**6分**



キャナルシティ博多

徒歩で

約**10分**



マリナーワールド海の中道

JR鹿児島本線・香椎線で

約**50分**



九州歯科大学であなたの夢を かなえてみませんか

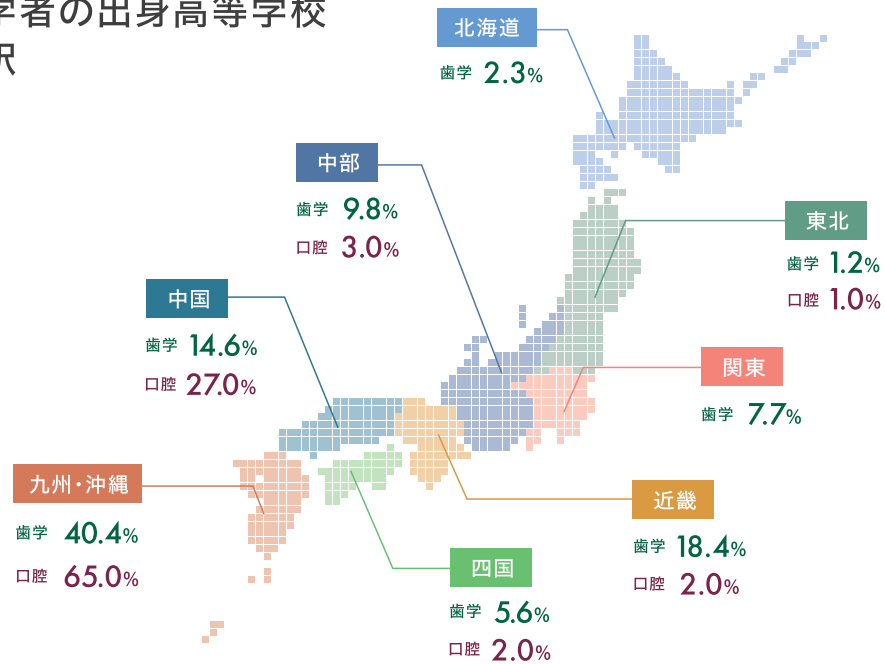
過去の入学者の出身高等学校 地区別内訳

歯学科

2020年入学～2025年入学

口腔保健学科

2022年入学～2025年入学



2027年度入学までの流れ

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月

総合型選抜

出願期間

試験日

学校推薦型選抜

出願期間 試験日

一般選抜
(前期日程)

2027年度入試概要

学科	入試区分	募集人数	選抜種目	大学入学共通テスト
歯学科	総合型選抜	15名	小論文、個人面接、集団討論	5教科7科目
	学校推薦型選抜	5名	小論文、個人面接	
	一般選抜	75名	外国語、理科総合、数学、個人面接	
口腔保健学科	総合型選抜	3名	小論文、個人面接、集団討論	5教科 6または7科目
	学校推薦型選抜	3名	小論文、個人面接	
	一般選抜	19名	外国語、理科総合、個人面接	

※詳細については、募集要項でご確認ください。上記選抜のほか歯学科は、「私費外国人留学生選抜」を実施しています。

アドミッションページ



リアルな声が聞ける！

個別相談会

入試担当者と本学の学生が、大学の概要や入試制度、実際の学校生活や受験勉強について個別に相談ができます。さらに「歯大生の1日のスケジュール」や「おすすめの勉強法」など、学生のリアルな声も直接聞けます。

相談会の様子



学生相談会 (対面)



学生相談会 (対面)



学生相談会 (オンライン)

個別相談会情報

各イベントの詳細については右記の二次元コードでご確認いただけます



2月

3月

合格発表日 入学手続き期間

合格発表日 入学手続き期間

出願期間 試験日 合格発表日 入学手続き期間



〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1
TEL.093-582-1131 FAX.093-582-6000
<https://www.kyu-dent.ac.jp/>

